

第9回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会

1. 日 時：令和3年10月7日（木）13:00～14:30
2. 場 所：WEB 開催
3. 出席者：大聖委員、竹内委員、廣瀬委員、神野委員、山田委員、西野委員、萩原委員、真壁委員、舘野委員、若林委員、富樫委員
4. 議事（概要）

今年3月に開催された「第8回 完成検査の改善・合理化に向けた検討会」で合意された令和3年度の調査事項についての内容を踏まえ、本年度の調査内容・スケジュールに関する議論が行われた。

- 完成検査の自動化の導入促進について
 - ・本年3月に策定・公表した「完成検査の自動化ガイドライン」の内容を踏まえ、自動車の完成検査において、AI等を活用した検査が可能と考えられる検査項目について、検査員が行っている検査をAI等で代替することが可能となるよう、本年内に制度改正を行う方向で検討を進めていることが報告された。
- 品質管理制度・手法の改善について
 - ・58協定に基づく、自動車メーカーの品質管理の適合性を示す文書（COPステートメント）の発行／受け入れに関して、課題や論点を整理するため行う今年度の調査内容、スケジュールの案について、了承が得られた。
 - ・その他今年度調査に関して、国による運用の違いを確認すること、情報を集めるにあたって業界の協力の必要性についてコメントがあった。
- 監査の合理化について
 - ・監査の合理化の検討に向け、リモート監査の特徴等について整理を行うとともに、今年度の実施内容（メーカーの協力を得て行う、リモート監査の試行的実施等）やスケジュールの案について、了承が得られた。
 - ・また、リモート監査の試行的実施に先立ち、他分野での事例を踏まえ、留意すべき観点（カメラ等機材の問題、通信状況の確認、情報の管理等）についてコメントがあった。

以上